

関戸橋工事説明会（府中市側）の議事要旨

1 開催概要

日 時	平成 30 年 3 月 28 日（水曜日）19：00～20：30
場 所	スクエア 2 1 ・府中市女性センター
参加者数	11 名

2 主な質問・ご意見と回答（要旨）

※複数の方から頂いた同様の質問については、集約して記載しております。ご了承願います。

（1）工事及び事業内容について

ご質問・ご意見	回 答
多摩市側で多摩市道（下流側）への右折ができない期間は、府中市側でUターンしてまた多摩市まで戻るとのことだが、これにはかなりの距離を移動しなければならない。これ以外には考えられなかったのか。	交通切替後、多摩市側の右折車線や下り線（町田方面）周辺は、道路面が現状より 1 m 程度上がります。このため、右折車線とその周辺の通行を止めずに工事を行うことは非常に困難な状況です。道路を利用される方にはご不便をお掛けしますがご理解をお願いします。
多摩市側から仮橋に行く車線は斜めになっていて、かつ車道と歩道との間に段差がない。車道と歩道との間にあるガードレールは車が激突しても耐えられるものなのか。歩道と車道の間に段差を設けないのか。	この区間では、車両の車線逸脱を防ぐためのすべり止め舗装や、車線誘導標を設置して安全の確保に努めます。車道と歩道の間には安全のためガードレールを設置しますが、段差を設けることができるかについては検討致します。
昨年の説明会で仮橋の基礎構造に問題ないと聞いていたが、多摩川では昨年 9 月の大雨で野球グラウンドに洗堀が生じたほか太い流木もあった。仮橋の橋脚は鋼管がむき出しの状況だが、このような現象に対して安全は確保できるのか。	仮橋の橋脚は、川の最も深い箇所でも安全が確保できるように設計しています。またグラウンドの部分に洗堀を受けても仮橋自体に影響がない形で設計しています。なお、鋼管は現在の下流橋の橋脚より幅が多少狭くなっており、流木の引っかかる可能性も低くなっています。
多摩川通りの上流側からの右折が混雑し、直進車両の通行を阻害している。今回の工事により右折車線が短くなり、渋滞が更に悪化するのではないのか。	今回の工事において、停止線の位置が変更とはなりますが、右折車線の長さは現在と同じ長さをとれるように改良します。
多摩市側で右折ができない間、府中市側のUターン路を利用する交通が増える。現状でもUターンの車で混んでいる時があり、渋滞や追突事故が発生しないのか。	多摩市側で右折ができない間は、このUターン路の利用が一時的に増えると考えられます。このため、交通切替にあたっては、交通管理者と協議し、必要な安全の対策に努めて参ります。
今回の工事で橋前後の道路が曲がり複雑になるが、制限速度は 60km/h のままになるのか。	今回の工事で設置する曲線は、速度 60km/h に対応したものです。ですがこれまでの直線から曲線に変わりますので、その区間を走行する手前などで案内や注意の喚起などを行って安全の確保に努めていきたいと考えています。
府中市側の鎌倉街道を横断する横断歩道が今よりも長くなる。信号の時間調整は考えているのか。	信号機の時間についても交通管理者と調整の上で対応して参ります。

ご質問・ご意見	回 答
現在、関戸橋北詰交差点で鎌倉街道を府中市側から右折する車線と対抗車線の間はゼブラ表示となっており、交差点手前でUターンできるようになっているが、交通切替後もUターンはできるのか。もしできなければ交差点内に右折車とUターンの車が入り渋滞するのではないか。	今後、交通管理者とこの部分の通行方法について調整し、工事を行います。